

## レグザクラウドサービス「TimeOn」とクラウド対応テレビ

"TimeOn" Regza Cloud Service and TV for Cloud Services

## 巻頭言

## 新しい視聴スタイルを生み出すレグザクラウドサービス「TimeOn」

"TimeOn" Regza Cloud Service Creating New Styles of Use

テレビのインターネット対応が始まって久しくなりますが、そのインターネット機能のほとんどはおまけ的な位置づけにとどまっており、接続率や使用頻度はまだまだ低いレベルにあるのが現状です。また、パソコンやスマートフォン向けのクラウドサービスが本格化しているにも関わらず、テレビ向けのそれはほとんど普及していません。家庭内デジタル機器の中心にあるはずのデバイスが、世の中のデジタル機器の動きから取り残された状態となっています。一方で、SNS (Social Networking Service) など現行のクラウドサービスやアプリケーションは、パソコン並びにスマートフォンをターゲットに作られており、現状のままではテレビへの普及は望むことができませんでした。

本来、テレビは映像コンテンツを楽しむためのデバイスです。レグザクラウドサービス「TimeOn」(以下、TimeOnと略記)は、テレビの本質から外れることなく、クラウドサービス時代の新しいテレビの使い方を提供する先兵として開発しました。

TimeOnは、放送や録画コンテンツをとことん楽しむために設計されています。しかし従来のように単体で楽しむのではなく、クラウドサービスの特性を活用してテレビの中に放送番組や人との新しい出会いを作り、シーン検索を使って深く掘り下げながら楽しむように、テレビを新しい、もっと便利で楽しいメディアに進化させています。加えて、最大6チャンネルの地上デジタル放送番組を常時録画できる“タイムシフトマシン”というテレビがもともと持っている機能と組み合わせることで、視聴スタイルの広がり相乗効果をもたらすことができると考えています。

タイムシフトマシンで録画した番組から世の中で話題になっているキーワードで検索などができる“みどころシーン再生”や、クラウドサービス上のメタデータを照合してシーンの頭出しができる“タグリスト”、録画予約状況を確認できる“カレンダー”、推薦シーンなどを紹介する“メッセージ”など、今回、これらのサービスを投入しました。

出荷時に全て組み込んでおく従来のテレビでは、出荷時に成長が止まるのが通常でした。しかし、クラウドサービス化することで、テレビ本体を買い替えることなく、ユーザーに利便性の向上や新しいアプリケーションを提供できるようになり、更に、新しいビジネスモデルを展開することも可能になりました。

今後、TimeOnを更に成長させていき、お客さまにテレビの新たな使い方を提供するとともに、従来のテレビのビジネスモデルを革新するため開発を進めていきます。

この特集をご一読いただき、テレビの新しい風を感じていただければ幸いです。



石橋 泰博  
ISHIBASHI Yasuhiro